

# 「就労時間内に占める学習時間量の異常さ」が判明 膨大な学習時間量に関わらず、約 50%は国家試験不合格者となる

- ★ 弊社では、「事業団報告書（H24 年度）」を基に、受け入れ施設での【就業時間内に占める学習時間量】を中心に分析したので、今号でその内容の解析を掲載することとした。
- ★ 「事業団報告書」は、一週間単位の勤務時間内学習と、時間外学習の平均時間を集約したもの。しかし、受け入れ施設は直接に、賃金支払いをし、そして、業務配分をするために、「週・月・年・3 年間別」に集計して、現場に役立つ分析をした。
- ★ 今回の【就労時間内に占める学習時間量】は、国家試験受験日までの累計時間量が、最低 1,051.2 時間（日数換算 131.4 日分）にも及ぶ膨大な時間量が判明して、その異常さが明らかとなった。
- ★ 「勤務時間外での学習時間量」は、705.6 時間と少なく、「受験者の学習のあり方が、施設頼み」であることを表しており、【自学能力の無さ】が学習時間量調査で明らかとなった。このことが、国家試験不合格の一つの原因だと言える。

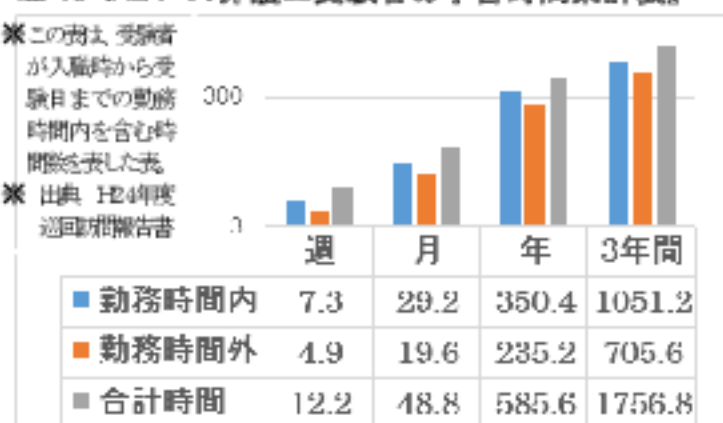
## I. 【1 年間で 43.8 日間が、不就労日！！】

- 表 1 から、「勤務時間内の学習時間量」を、「週・月・年・3 年間」でみて、「不就労日」を割り出すと、月単位では **3.65 日間**で、年単位では **43.8 日間**となった。さらに、国家試験日までの 3 年間では驚くことに、**131.4 日間**にも及ぶことが判明した。
- 「勤務時間内学習」は、給与対象就労時間であることを考えると、日本人職員と比べて、いかに EPA 受験者が優遇されているかが分かる。しかしながら、受験者にはその優遇処置の自覚が薄く、逆に、その他の権利主張が多く出る場合が、全国で報告されている。
- 施設側が受験者に対して、過剰な優遇処置をすることが、逆に、「国家試験合格に対する意欲を損なう」ことを、【月報】では再三再四、報じてきた。また、職員との逆差別も問題だ。

## II. 【日本語力能力と受験能力は同じ??】

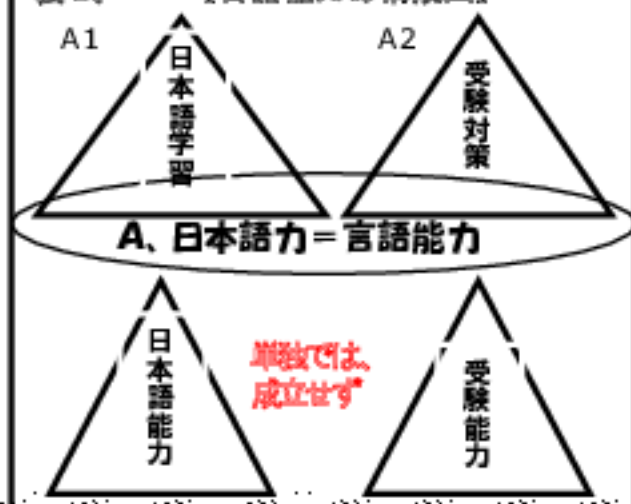
- 多大な「勤務時間内学習」をさせて、国家試験に合格できなければ、施設としては「何のための EPA 受け入れ事業」なのかが、不明確になる。

表 1. 【EPA 介護士受験者の学習時間累計表】



- 極力、「勤務時間内学習」を避けて、「勤務時間外学習」を中心に、国家試験合格を目指す「3 年間学習計画」を作ることが、絶対必要不可欠だ。そのためには、受験者の【自学能力を養う】ことが必要だ。
- 受け入れ事業は、あくまでも「労働力不足の解消策」と明確な目的がある。このことを自覚していれば、「優遇処置」をとらずに、【仕事は仕事、学習は学習】と、明確な対応がとれるはずだ。
- しかしながら、表 1 の時間数を見る限り、あまりにも過剰な「優遇処置」が、全国で行われているのが実態だ。このような実態は、欧米諸国の外国人対応策と比較すると、異常だと言える。
- 表 2 では、多くの施設の対応方法を下段に表している。しかし、表 2 の上段は「日本語学習と受験対策」は独立できないことを表している。なぜならば、日本語で作られている試験問題は、日本語力がないと解けないからだ。
- 「受験能力」を養うためには、言語能力がない限り不可能だ。日本語力と分離して考えることはできない。よって、勤務時間に膨大な受験対策時間を費やすのではなく、【自学能力を養う】ことで、「勤務時間外に学習を集中させる」べきだ。

表 2. 【言語能力の構成図】



## 施設の声 その1

### 勉強づめで、大変な受験者！！

- 日本語学習は、外部の先生にお願いしている。最近では、元職員が学校の先生の資格を持ち、ケアマネージャーもしていたこともあり、日本語教師と介護の講師の二人が対応している。
- そのため、勤務時間内の学習時間は以前よりも増えて、仕事をさせられなくなったが、職員側としては、心強くなった。しかし、受験者は勉強づめで、大変なようだ。(富山県・N施設)

### 毎日放任状態の学習で、結果は全員不合格！

- 二名が28年度国家試験を受け、二名とも難しくてダメだろうという受験者の反応だった。当然ながら落ちて、一人は既に帰国した。
- 受験者には、毎日勤務時間中に学習時間をもって自習させていた。しかし、職員は自分の業務があるので、放任状態で学習させていたのが実態だ。その結果、十分な学習時間を与えても、指導者がいなかったために、不合格となった。
- 人材不足のため、今後も受け入れを予定しているのですが、もう少し職員が関われる時間をとる必要があるかと考えている。しかし、職員の負担が重くなり、大変だ。専門的な指導者がほしい。(宮城県・S施設)

### 専門知識は極力、現場で習得させる！！

- 勤務時間内には、外部講師が週一回指導している。それ以外の学習時間は一切、設けておらず、自己学習を中心にさせている。勤務時間内で学習時間が取れば良いのかもしれないが、仕事をさせている。夜勤も入れるようになって、生活上の会話はほとんど問題ない。
- だが、国家試験の熟語漢字などを習得していなくてはならないので、その辺は今後、どのように指導したら良いのかを考えなくてはいけないと思っている。
- 専門知識や語彙、日本事情問題などの指導は、仕事の中で問題文に合ったような利用者さんをモデルに対応しながら、体で理解させている。そのほうが、ビデオなどを観て勉強するよりも、最も効果的だと感じる。(岐阜県・T施設)

## ことばの研究社 EPA介護学習支援情報

### 勤務時間内は外部講師で、勤務外は職員が！

- 外部から日本語教師が来て、週1回2時間、勤務時間内で指導をしている。さらに、法人内で日本語教師の資格を取得した介護職員が勤務時間外でも指導にあたっている。
- しかし、まだその職員が資格を取り立てなので、どうしても難しく教えてられない。受験者のやる気も、あったり無かったりする者がいて、学習意欲を上げるのが難しい。
- 法人としては、施設内でもしっかりと日本語教育ができる職員を配置させて、受験者の指導にあたるようにしたいという意図があるが、なかなか上手くはいかない。
- 職員側としては、介護の専門職なのに、なぜ、日本語教師の資格を取得して、対応しなくてはいけないのかという疑問を抱いている。(愛知県・M施設)

### 週三回も勤務時間内で学習させる！！

- 28年度国家試験を受けた受験者が一名いたが、残念ながら不合格だった。その原因は、【月報】でも再三書かれていたが、一年目、二年目の日本語学習の仕方や指導で、合格できるかが決まることを、身をもって実感した。
- 一年間延長をし、再度、挑戦する。日本語力が不十分なままに進んでいたため、再度、入職一年、二年の受験者と共に日本語をしっかり学習させている状態だ。
- これでどこまで上手くいくかということもあるが、週三回、勤務時間内で学習時間を設けて取り組んでいる。(広島県・P施設)

### 専門学校への通学を嫌がる受験者！！

- 横浜市内の専門学校に週一回、通学させているが、午後番で仕事をしている時など、「仕事が終わってから学校に行くのは嫌だ」とか、「学校に行きたくない」という受験者が中にはいて、モチベーションが下がっている。
- 学校までは施設から遠くはないので、単なる、受験者の我儘にしか過ぎない。「通学拒否」の問題が上がってきており、「問題の解決策がないために、困ったな」と感じている。
- 学習意欲を上げるための具体的な指導方法を是非、教えてほしい。(神奈川県・T施設)



## 施設の声 その2

## ことばの研究社 EPA介護学習支援情報

### 事業団テストは良いが、十分な日本語力が無い！

- 週一回、勤務時間中に日本語学校に通っている。しかし、日本語学校のクラスには、様々な外国人がいるために、同等レベルのクラスではない。そのため、受験者たちは授業の内容や進め方に不満感を持っていた。だから、5月からはEPAの受験者だけが勉強する学校に通わせるために契約したが、不安は残っている。
- 最近、同じ法人3施設で集まって勉強する機会があった。そこで、うちの受験者は事業団テストができるので、うちの職員は安心してた。ところが、介護日誌等を書かされると、例えば、「一口大」を「一口台」と書いたり、同音異義語について、分かっているようで理解していないんだなと気づいた。普段の受験者の会話だけで判断することは、【月報】で指摘の通り危険だと思った。
- 【月報】に、訓練みが大切であるという事が書かれていたし、受験者の日本語の概念が曖昧な状態であることが、はっきりした。でも、どう指導して理解させれば良いのが、分からないので、困惑している。(千葉県・H施設)

### 丸投げ教育の結果、二年目で全員、帰国！！

- フィリピン人二名を受け入れていたが、一人は体調不良の理由で、もう一人は家族が病気の理由で、結局、二年目で二名ともに帰国した。
- 今思えば職員の手間暇が多くかかり、時間も多く割き、大変な負担のかかる受け入れだった。施設内での学習時間は、週3日間の午後は全部学習時間に充てていた。
- こんな結果になって思うことは、受け入れた以上は、施設の労働力になるように教育しなければ、何もメリットはないと強烈に感じている。人材については、切羽詰まてはいない状態だが、不足していることは現実問題だ。
- 受験者は、ある病院が主催する研修会に、施設内学習とは別途に、勤務時間内で、週一回参加していた。初めて受け入れたので、他の指導方法を経験したことがないために、教育効果については、「こんなもんかなあ」と思った。
- しかし、教育の内容や結果は、何一つ具体的に報告されなかったのも、疑問はもった。しかし、施設としては、研修会主催者に全てを丸投げしていたために、具体的な受験者対応ができなかった。このことが原因で、二名の帰国者を出したと思う。(静岡県・K施設)

### 受験者の能力を報告しない日本語教師に困惑！

- 当施設は5名受け入れているが、現在の問題点は、受験者の中で日本語力にばらつきがあり、今後の学習に不安を感じている。
- しかし、職員では「どのようにすれば、全員同じように日本語力が向上するのか」の指導方法が分からずに困惑している。また、日本語教師はいるが、その教師が職員に分かるような、具体的な報告を提出しないために、「何が問題なのか」が不明で、指導担当としては不安を感じている。
- 本来ならば、お金を出して雇っている日本語教師が職員に分かるように、具体的な報告を出すべきなのだが、その日本語教師は、受験者の日本語力については、具体的な報告を一切、出さないで、受験者の能力把握に、困っている。
- しかし、現場では業務に時間を取られて忙しく、受験者に対して、具体的な指導や把握をする時間すらないので、実情だ。このような状態を解決する方法があれば、是非、具体的に教えてほしい。また、日本語教師に対しての対応策も、アドバイスを頂ければ、とても助かると思う。よろしくお願いします。

(福岡県・M施設)

### 事業団テストが良くても、記録を書けない！

- 当施設の受験者は、入職時からすぐに、横浜市のEPA対象の研修会に参加している。さらに、施設内では勤務時間中に、現場の職員が業務をしながら、ほぼ毎日、指導している。
- 勤務時間中の学習時間数を考えると、一週間で、最低、10時間学習させていることになる。しかし、これだけ多くの学習時間量をとっても、文を書かせるとなると、なかなか正しい文が書けないために、介護記録や申し送り書を作成することができないのが、実情だ。
- 日頃の職場での受験者との会話は、それなりに意思疎通ができて、日本語力があると感じていた。また、事業団テストの結果も悪くないので、それを信じていた。
- これは、全く間違った捉え方で、文を書かせる、「はっきり言って、使い者にならない」と、感じている。例え合格できても、このままの状態であれば、戦力にならない。これを解決するためには、どうしたら良いだろうか。(神奈川県・M施設)

## ◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

## &lt;自学能力養成型コース&gt;

## 【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。  
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

## 【二年目 到達度試験 Eレベル～国試2レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

## 【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

## 【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

## 各段階の学習目標と、特徴

|             |                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                             |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一<br>年<br>目 | <p>★基礎言語能力の育成</p> <p>①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。</p> <p>②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。</p> <p>③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。</p> | <p>●日本語能力を養う</p> <p>①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。</p> <p>②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。</p> <p>③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。</p> <p>④簡単な業務日誌が書けるようになる。</p> |
| 二<br>年<br>目 | <p>★生活言語能力の育成</p> <p>①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。</p> <p>②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。</p> <p>③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。</p>                           | <p>●国家試験受験能力を養う</p> <p>①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。</p> <p>②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。</p> <p>③自学で「過去問」ができるようになる。</p>                                                       |
| 三<br>年<br>目 | <p>★職域言語能力の育成</p> <p>①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。</p> <p>②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。</p> <p>③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。</p> <p>④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。</p>       | <p>●国家試験合格能力を養う</p> <p>①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。</p> <p>②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。</p> <p>③マークシートでの解答ではなく文書による解答ができるようになる。</p>                              |



## ◎ 到達度試験Bコース(併用型)

## &lt; おまかせコース &gt;

## 【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

## 【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

## 【三年目 到達度試験(国試2レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
  - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
  - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

## 各段階の学習目標と、特徴

## ★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

## ●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

## ★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

## ●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

## ★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

## ●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

# 【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています**。 また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。 「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

| レベル          | 合格基準                             | 特徴                                                                         | 技能の種類                                    | 合格 |
|--------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|----|
| 3段階          | <b>75 %</b><br>専門学校卒の<br>言語能力    | ※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う<br>◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」<br>に対応できる学習をさせる。            | ★ 5 技能<br>・ 瞬時反応<br>・ 文脈読解力<br>・ 要約力など   |    |
| 2段階          | <b>90 %</b><br>専門学校 2 年<br>の言語能力 | ※ 専門知識の活用力を養う<br>◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字<br>熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を<br>させる。    | ★ 4 技能<br>・ 瞬時反応<br>・ 漢字熟語力<br>・ 文脈読解など  |    |
| 1段階          | <b>90 %</b><br>専門学校 1 年<br>の言語能力 | ※ 専門知識の運用力を養う<br>◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」<br>（語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。           | ★ 3 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 文意読解など            |    |
| F段階          | <b>85 %</b><br>高校 3 年の<br>言語能力   | ※ 専門領域の基礎力を養う<br>◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で<br>学習させる。                          | ★ 4 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 文意読解など            |    |
| E段階          | <b>80 %</b><br>高校 1 年の<br>言語能力   | ※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う<br>◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった<br>運用力が身につく学習をさせる。          | ★ 9 技能<br>・ 文読解力<br>・ 図読解力など             |    |
| D段階          | <b>75 %</b><br>中学校 2 年の<br>言語能力  | ◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった<br>自学力が身につく学習をさせる。                                    | ★ 11 技能<br>・ 対応力<br>・ 要約力など              |    |
| C段階          | <b>70 %</b><br>小学校 6 年の<br>言語能力  | ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった<br>自学力が身につく学習をさせる。                                   | ★ 11 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 文脈力 など           |    |
| B段階<br>N2レベル | <b>70%</b><br>小学校 4 年の<br>言語能力   | ※ 日本語の基礎知識を養う<br>◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な<br>知識とその使い分け」ができる能力を中心<br>として学習させる。 | ★ 11 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 読解力など            |    |
| A段階<br>N3レベル | <b>75 %</b><br>小学校 3 年の<br>言語能力  | ・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・<br>漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。                              | ★ 13 技能<br>・ 瞬時反応力<br>・ 文字認知力<br>・ 読解力など |    |
| 初回           |                                  | 受験者の現状の日本語能力を観る。                                                           |                                          |    |

職域言語能力を養う

生活言語能力を養う

基礎言語能力を養う



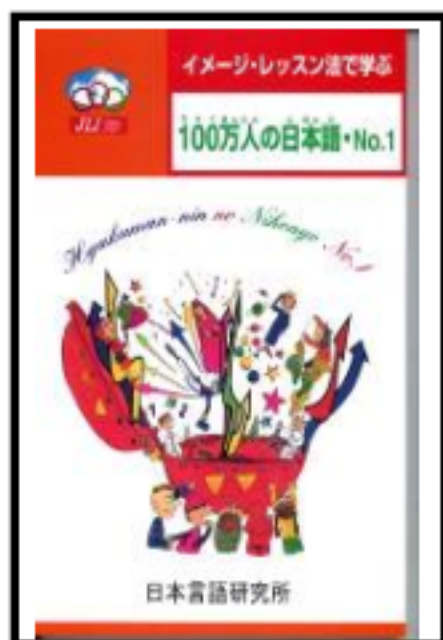
# 自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる      ② 日本語の「規則性と用法」が学べる  
③ 漢字も類推して読める      ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援  
スカイプ・総研の問い合わせ先  
ことばの研究社  
電話：086-431-3481  
FAX：086-431-3482  
岡山県倉敷市庄新町 8-4-12

## 学習支援 主教材

### 基礎言語能力レベル

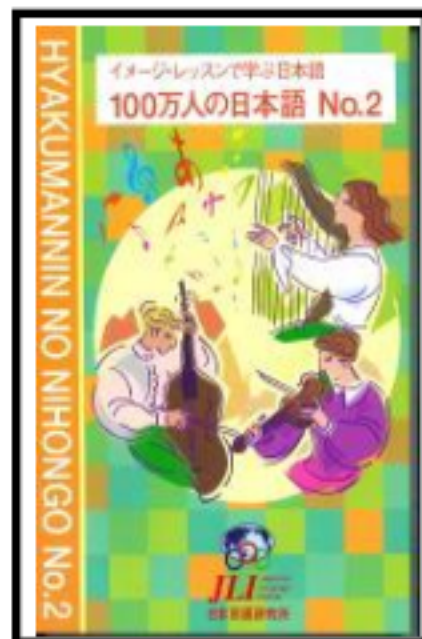


#### 【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



#### 【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

### 生活言語能力レベル



#### 【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

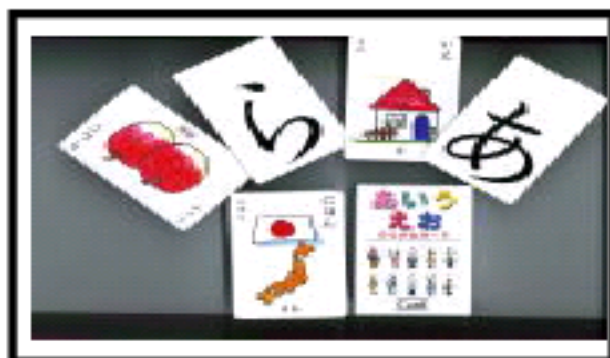
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！  
教育効果の高さ  
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、  
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

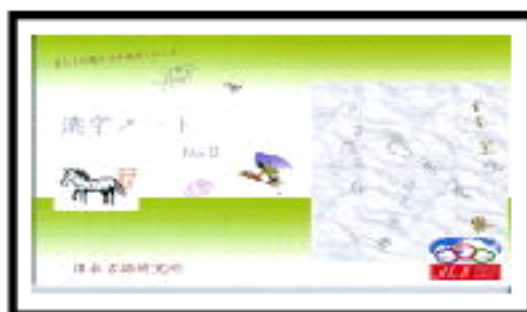
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)